

NEWSLETTER

ミャンマー企業訪問

KOKORIZE Myanmar Co., Ltd. 長田 Managing Director



KOKORIZE Myanmar Company Limited
Address : 5-B, Riverside Residence, 456/458,
Corner of Lanmadaw Road and Strand Road,
Latha Township, Yangon.
Ph : +95-9-7781-75910
URL : <http://kokorize.com/>
<http://myanmar-express.com/>(ミャンマーエクスプレス)
<http://www.mlt-myanmar.com/>(ミャンマー語検定)

Q KOKORIZE Myanmar 長田様にお話を伺います。はじめに貴社と長田様ご自身のご紹介をお願いします。

翻訳事業を柱としながら、ミャンマーエクスプレスの発行、ミャンマー語検定事業、SDL Tradosという翻訳ソフトの代理店事業を行っています。私自身は大学時代に史学部で古代ギリシャローマなどを研究しイタリアが好きになり、現地に語学留学をしました。その後言語に関わる仕事を希望し、翻訳会社に入社しまして、そこでマレーシアのパナソニックで合併事業の立ち上げを担当したのですが、東南アジア独特のポジティブな空気に魅せられていました。やがて日本への帰任が決まり、このまま会社員を続けるよりも30代のうちにチャレンジしたいと思い起業しました。

Q マレーシアの駐在も経験された中、なぜミャンマーに進出をされましたか？

当初は東南アジア全体を検討し、中でもベトナムやカンボジアを具体的に検討しましたが、「ミャンマーを見てみたら」と助言してくれた方がいて、2013年10月に視察に来ました。業界に先行者がいないことがわかり、それはつまりまだマーケットがないということですが、国自体に高いポテンシャルを感じました。日本で知り合った社長がすでにミャンマーに進出しており、協業パートナーとなってくれたのが決め手となりました。

Q 各ご事業についてご紹介ください。

翻訳事業については、日本語からミャンマー語へと英語からミャンマー語への翻訳のご依頼が多いです。ASEANの言語全体を扱っていますが、ミャンマー語にかかわる依頼が8割です。機械メーカーのマニュアル書の翻訳など大きな仕事から、プレゼン資料やメールの翻訳などの細かいオーダーもありますよ。またミャンマーエクスプレスを自社メディアとして発行しています。ミャンマーの新聞やジャーナルを翻訳し校正をかけて週に3回、月で合計400件の記事を配信しています。購読者の8割はミャンマー進出済みの日系企業です。ミャンマー語検定は2015年8月に開始しました。ミャンマー語を学習する外国人が増えていますし、社会的な意義も大きいと思っています。前回2016年8月には50名が受験し、日本と韓国の受験者が多いです。

Q ミャンマーでのご苦労やそれに基づく読者へのアドバイスはございますか。

当社ならではの、ミャンマーエクスプレスの元ネタである現地メディアですが、言論統制が長かったため優秀な記者も少なく、クオリティが高いとは言えず、記事自体の間違いや意味の通じない記述が多いです。そのため日系企業向けに配信するための校正の手間がかかります。また一般的な苦労として、ミャンマー人従業員は仕事にお金や家族のことといったプライベートの問題を持ち込むことが多くよく相談をされます。文化の違いが大きいので、従業員を管理できる右腕的な管理者を見つけることが大切だと思います。

長田様、ご協力ありがとうございました！

ミャンマー会計 税務トピック 【外国居住ミャンマー市民の所得税】

日系企業に就職し数年単位で日本へ出向するミャンマー人も増えてきています。2016年連邦税法第20条によると外国に居住するミャンマー市民は所得の10%を、所得を得た通貨でミャンマーに納税することとされています。ただし例外として「給与所得」については納税の義務が免除されています。



Photo by Nakayama